

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	天朝山文化交流の家			所管課	公園管理事務所	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者数等について数値目標を定め管理すること。 ・天朝山公園の他の施設も含めて一体的なPRを行い、利用を促進すること。 ・天朝山公園全体の文化的価値を踏まえて、テーマ・方向性を定めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H15(2003)	木造	1階建	130.56 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
93 千円	704 千円	908 人	535 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	PRについてはHPにて利用促進を図っております。 他課との連携による取組については、矢倉の改修工事を8月上旬に終え、生涯学習課に依頼し天朝山の矢倉内に歴史パネルを展示。 矢倉の公開については、生涯学習課が主体となり公開を開始したが、矢倉と文化交流家とのタイアップが難しく、また文化交流の家の利用者増には繋がらないので、他の施策を検討する必要があると検証した。	利用者数 819 人 使用料 119 千円

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【年間利用目標】 1,500 人 ・コロナ前の利用者数を目標とする。 【利用者増の取組】 ・天朝山の矢倉改修や資料展示をすることとしており、近くに市島春城の生家離れ、水原代官所があり、幕末から明治始めにかけての歴史的な背景を感じられるような取組をすることで魅力の向上を図る。 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 【設備更新】 ・予防保全の徹底	・矢倉内改修工事は完了。生涯学習課と協議し、矢倉内の展示資料を年内に整備する。矢倉の活用は来春から行う。
令和6年度	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・イベントの開催 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底
令和7年度	PDCAにより検証し、取組を継続	【年間利用目標】 1,500 人 【利用者増の取組】 ・他課との連携による取組 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底
令和8年度	PDCAにより検証し、取組を継続	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	矢倉をはじめ他の施設とのタイアップができるよう、他課との調整を図ること。
------------------	--------------------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	□実施（完了） ☒ 実施（進行中） □未実施
改善策等	天朝山矢倉の改修を終え、施設の連携で利用者増を図ることとしていたが、生涯学習課とのタイアップが難しく、また文化交流の家の利用者増には繋がらないので、他の施策を検討する必要がある。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	小島駐車場（トイレ）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・見た目も含めて綺麗にした方がよい。 ・トイレ単体で考えるのではなく、市の観光施策全体の中での位置づけを明確化して維持すべき。 ・現状維持で管理を行い、利用者の声を聞きながら改善すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	コンクリート ブロック造	1 階建	7.88 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
14 千円	330 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和6年度	適切な維持管理業務（清掃週2回実施）	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 (清掃：週2回、 冬期間閉鎖：12月上旬～3月上旬)	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	観光施策全体の中での位置づけについて、明確化できるよう検討すること。
-----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	やまびこ通り（トイレ・東屋）			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持					
R 3 行政改革推進委員会意見						
- 必要な修繕を行って維持管理すること。 - 訪れる人を歓迎するために必要な整備・維持管理を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H5(1993)	鉄筋コンクリート造	1階建	51.37 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
0 千円	588 千円	未集計	未集計

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	- 適切な維持管理業務 (清掃週2回実施、繁忙期は週3回実施) - 駐車場トイレの修繕実施 (支柱根腐れ修繕)	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和6年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和7年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和8年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
------------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	引き続き適切な維持管理業務を実施していきます。 不具合箇所が発見された場合、現場状況を確認し適切に修繕します。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓うらの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持	利用増の取組				
R3 行政改革推進委員会意見						
・目標達成に向けて、他施設との連携、位置づけの明確化、運営体制等の検討を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H14(2002)	木造	1階建	492.65 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
6,810 千円	8,259 千円	99,283 人	101,381 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	9月29日(日)にWALK&EAT(体験型ウォーキングイベント) - 地域の特産品やお土産の充実に向けた取組 - 芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組 - 入館者アンケート実施	利用者数 108,221 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し(修正計画)
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 120,000 人を目指す。） ※毎年 10,000 人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・芝生広場等を活用したイベント開催 内容：阿賀野 WALK&EAT ・この地域の特産品やお土産の充実 内容：市内地場産工芸品等の未販売者への勧誘 ・温泉客、登山者向けの PR 内容：登山者及び共同浴場利用者の施設利用と駐車場 活用	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者 130,000 人を目指す。） ・同上 ・PDCAによる見直し PR効果の検証（来場者数、アンケートなど） 利用者増加に向けた取組内容 地域の施設との連携状況 施設の充実度（品目・対応） ・芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組	
令和7年度	利用増の取組（年間利用者 140,000 人を目指す。） ・同上	旅館組合によるモニュメント設置
令和8年度	利用増の取組（年間利用者 150,000 人を目指す。） ・同上	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
-----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	9月29日(日)にWALK&EAT(体験型ウォーキングイベント)が開催され、会場となった当施設も1,500人に迫る来館者が訪れました。 地域の特産品やお土産の充実、温泉客、登山者向けのPRについては、引き続き検討を続けます。 旅館組合が設置するモニュメントを活用し、集客を図ります。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓いこいの森			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	近隣施設との連携検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・少年自然の家など他の施設との連携を検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄骨造・木造	1階建	261.13 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
6,664 千円 うち指定管理料 1,800 千円	6,664 千円	26,109 人	25,712 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	4・5月は天候に恵まれ利用も多かったが、6月からは近隣での熊の出没を受け、問い合わせが増える一方で利用者は減った。7月は梅雨、8月は猛暑とお盆の時期は台風予報で利用者が減少。9月も週末が雨で年間を通して利用者の増加にはつながらなかった。 10月5日(土)～6日(日)に長岡地域振興局事業の「サバイバルキャンプ」をいこいの森と少年自然の家を会場として連携して実施しました。 12月～3月は閉鎖。	利用者数 23,865 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	近隣施設との連携検討 ・少年自然の家、五頭自然学校との連携による利用促進 ・五頭山麓の自然を活かした事業の実施 ・バリアフリー対応や、子供の生き物とのふれあい、五頭薬用植物園を活用した実践体験 ※年間利用者 30,000 人を目指す。（令和8年度までに、H27 利用者 40,000 人を目標とする。）	
令和6年度	前年度事業のPDCAにより、更なる魅力向上及び連携を図る。 ・ネットでの口コミを集計し、利用者増加に向けた取組を検討 ・五頭薬用植物園、五頭連峰少年自然の家との連携状況 ・チェックアウト時に施設利用者の声を聴く（施設・環境・対応） ※年間利用者 37,000 人を目指す。	県事業の会場として、子供たちを対象にしたサバイバルキャンプをいこいの森と自然の家で開催。
令和7年度	同上 ※年間利用者 38,000 人を目指す。	・同上 ・遊歩道バリアフリー工事
令和8年度	同上 ※年間利用者 40,000 人を目指す。	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7 行革 (R7.8 月)	概ね妥当と認める。
--------------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	初心者を対象とした新たな企画を検討し、利用者の増加を図る。 指定管理者の経営安定を図るため、料金体系の見直しを予定しています。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原代官所			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・学校による利用、各種講座、サービスデイの設定、情報発信など運営改善に向けた様々な手法を検討すること。 ・それらの実行のためには、これまでと違った発想、若者の視点が必要である。 ・管理運営体制について民間活力の活用も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	木造	1階建	498.24 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
460 千円	9,767 千円	1,780 人	2,231 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	施設維持管理業務 ・委託業務(施設内清掃業務、樹木剪定業務 等) ・修繕業務(石垣修繕) 入館者アンケート実施 施設内管理業務を外部団体に委託検討 ・シルバー人材センターと検討会議	利用者数 2,094 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者2,000人を目指す。） ※毎年500人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設PR （観光パンフレットの読み取りQRコードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・民間旅行会社による旅行ツアーの実施 ・過去に実施されたイベントの開催機関への営業 ・近隣観光施設との連携強化 （天朝山公園矢倉の改修に併せたPR） 【施設修繕】 ・石畳（敷石）、表門扉の改修	
令和6年度	利用増の取組（年間利用者2,500人を目指す。） ・PDCAにより検証し、取組を継続 施設来館者の状況 施設PRについて 来場者アンケートの検証	施設内管理業務を外部団体に委託検討（追加）
令和7年度	利用増の取組（年間利用者3,000人を目指す。） ・同上	・花の見ごろに合わせて定期的にイベント開催を検討 ・施設内管理業務を外部団体に委託検討
令和8年度	利用増の取組（年間利用者3,500人を目指す。） ・同上	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
-----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	施設修繕については実施済みです。 近隣観光施設との連携強化や、瓢湖と代官所をタイアップした取り組み、商工会等との協議会形式でのイベントの取り組み等については、今後も検討を続けます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宿泊施設 リズム・ハウス瓢湖			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・宿泊再開にあたっては、新たにできる「道の駅あがの」や他の施設との連携を検討すること。 ・利用を増やすため、瓢湖という立地条件（観光資源＋環境教育）を活かし、かつ五頭温泉郷と差別化した仕掛けが必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H9(1997)	鉄骨造	2階建	721.71 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
3,699 千円	11,271 千円	8,485 人	7,990 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	・適正な維持管理 ・ワーキングスペースの運営 ・指定管理者の募集及び現地説明会 (公募：令和6年9月2日～9月30日) (説明会：2社希望、9月10日実施) ・指定管理者の再募集（未定） ・入館者アンケート実施	利用者数8,597人 [内訳] 入浴：5,635人 貸部屋：2,889人 ワークション：73人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（年間利用者 10,000 人を目指す。） ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・ワーキングスペースの運営 ・道の駅来場者へのPR ・宿泊再開の検討 修繕計画の策定 指定管理施設としての検討	
令和6年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・PDCAにより検証し、取組を継続 運営方法の検討 入浴客の推移 ワーキングスペースの活用状況 貸部屋の活用状況 指定管理施設としての検討	
令和7年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	指定管理者の再募集検討
令和8年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	指定管理料等を見直し、指定管理者の募集に向けて検討すること。
-----------------	--------------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	まずは市民から施設の存在を認識していただくため、お知らせ版等で入浴施設や貸部屋の利用者増を目指し、指定管理施設（宿泊再開）としての運営を模索する。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宝珠温泉保養センターあかまつ荘			所管課	商工観光課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	譲渡・貸館利用検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・現在の利用者の行き場も考慮し、規模・機能の縮小を検討すること。 ・廃止を進める場合、市民に対して市の負担を示すなど、丁寧な説明を行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	木造・鉄骨造	1階建	440.44 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
0 千円	1,269 千円	0 人	0 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	R6. 9. 2～R11. 29 温浴施設としての運営希望者募集 R6. 10. 30 運営希望者現地説明会 運営希望者説明会では2団体が参加しましたが、最終的に運営希望申請書の提出はありませんでした。	利用者数 0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【当初の運営方針】 ・市民団体からの提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ、新潟日報（3月掲載）、自治会回覧等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・今後の施設の維持管理方法について検討	
令和6年度	令和5年の決定事項により業務を遂行	【運営方針】 第三者委員会の提言書に基づき、民間を含め広く温浴施設としての提案募集 【手段】 ・広報、ホームページ等により提案募集の周知 【施設運営】 （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断（提案なし） ・温浴施設以外での活用提案募集
令和7年度	同上	同上
令和8年度	同上	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
------------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	農業総合管理センター			所管課	農林課	
地区	第 1 期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	譲渡検討	譲渡交渉				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・実質的に指定管理者である JA の専用施設となっているため、早急に譲渡に関して JA との協議を進めること。 ・補助金に伴う処分制限について整理をすること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	鉄骨造	2 階建	867.18 m ² (該当部分)
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
0 千円 指定管理料なし	259 千円	1,185 人	1,350 人

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和6年度	・指定管理による運営 (指定管理期間：令和7年度まで) ・耐用年数は31年、経過年数は29年である。 ・JA 新潟かがやきあがの店の支店長に、譲渡する意向である旨を伝え、検討するよう依頼した。	利用者数 1,348 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	譲渡交渉 ・指定管理期間中に譲渡に向けて結論を出す。 ・新潟かがやき農協と協議	
令和6年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和7年度	PDCAサイクルによる事業管理	
令和8年度	協議結果に基づき事業を進める。	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	早急に譲渡協議を進めること。
-----------------	----------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・耐用年数は31年、経過年数は29年である。 ・JA 新潟かがやきあがの店の支店長に、譲渡する意向である旨を伝え、検討するよう依頼した。 ・譲渡に向けて、条件を整理する予定。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	笹神農民研修所			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・地域住民の意見を聞き、支障がないなら処分（解体）すべきである。 ・仮に譲渡の方向で協議するにしても、多額の費用をかけて修繕する必要があるのならば、譲渡しないことも考えられる。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄筋コンクリート造	1階建	395.89 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
3千円 指定管理料なし	3千円	0人	40人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	・指定管理による運営 (指定管理期間：令和7年度まで) ・耐用年数は50年、経過年数は42年である。 ・耐用年数を経過するまでは、解体できないのが現状であり、また、譲渡を行う場合、多額の修繕費用がかかる見込み。 ・そのため、今後の活用方法を現在検討中。 ・R6年11月 JA新潟かがやきと協議。現在、味噌加工利用者が主に利用しているが、先述利用者の代替施設をJA新潟かがやき（ささかみアグリセンター）が確保した時点で指定管理を終了し、用途廃止を検討することとした。	利用者数0人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・みそ加工施設利用者の代替施設を農協が確保した時点で指定管理を終了し用途廃止検討 ・他目的での利用を検討	
令和6年度	同上	
令和7年度	同上	
令和8年度	決定した事項に向けて事業を進める。	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	引き続き用途廃止に向けて検討すること。
------------------	---------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	・耐用年数は50年、経過年数は42年である。 ・耐用年数を経過するまでは解体できないのが現状であり、また、譲渡を行う場合、多額の修繕費用がかかる見込み。 ・そのため、今後の活用方法を検討中。 ・当該施設は、避難所指定施設に位置づけられているため、今後の検討にあたっては、そのことも考慮する必要がある。 ・R6年11月 JA 新潟かがやきと協議。現在、味噌加工利用者が主に利用しているが、先述利用者の代替施設を JA 新潟かがやき（ささかみアグリセンター）が確保した時点で指定管理を終了し、用途廃止を検討することとした。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	ゆうきセンター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	機能集約	機能集約の検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・グリーンアクアセンターと統合する場合、ゆうきセンターの維持経費を削減しなければならない。 ・経費削減という点では、堆肥保管場所としての利用は有効。 ・ゆうきセンターとグリーンアクアセンターそれぞれの施設の役割を整理して市民への説明責任を果たせるよう準備すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H3(1991)	鉄骨造・木造	1階建	2,325.00 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
47,934 千円 指定管理料なし	46,186 千円	1,048 人	1,093 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	・令和6年9月、畜産農家（肉用牛・乳用牛飼養農家）に対して堆肥センターの今後の利用、経営等に関する調査を行い、従事者の高齢化や規模縮小など今後処理量が減少することを確認した。 ・その後、次年度重点事業説明会（令和6年10月23日）でアンケート結果を踏まえた堆肥センターの整備について協議した結果、しばらくは現状のまま2つの堆肥センターと使い続けることになった。	利用者数 814 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・ゆうきセンターの機能（ストック場）を決定し、必要な修繕箇所を確認する。	
令和6年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。	・堆肥製造施設として使い続ける。
令和7年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	・堆肥製造施設として使い続ける。
令和8年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	引き続きグリーンアクアセンターとの統合に向けて検討すること。
------------------	--------------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	機能集約の検討を続けていく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	分田農村環境改善センター			所管課	農林課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・分田地区の中心となる公共施設であり、社会的な役割が認められる。 ・地元集会所としての役割もあるため地元の負担も検討すべき。 ・収支改善が課題であり、当該地域以外の市民へのPRを行うこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	鉄骨造	2階建	506.90 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
104 千円	1,167 千円	1,881 人	2,466 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	施設予約システムのチラシを窓口に設置し、施設利用の周知に努めた。	利用人数 1,735 人 システム予約件数2件 (利用人数40人)

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	R2年度 利用件数 99 収入 78 千円 R3年度 利用件数 130 収入 79 千円 R4年度 利用件数 144 収入 82 千円 ○利用者増の取組 （利用件数 150 件、利用者数 2,500 人を目指す。） 新型コロナウイルスによって利用件数が大幅に減少したR2年度から徐々に利用件数は増加しているが、収入は依然として低調なため、広報あがの施設のPRを行い、地域以外の利用者の増加を図る。 ○維持管理費の見直し 維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証する。（警備委託料、清掃業務委託料の必要性など）	
令和6年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和7年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	
令和8年度	利用者増の取組 ・PDCAにより検証し、取組を継続	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	6次産業化等で施設を活用できるよう検討すること。
-----------------	--------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	3月に広報あがのを活用した施設のPRを行った。警備委託料等の維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証した結果、当該施設が無人施設であること、火災等に備える必要があること等を考慮し、契約の継続をすることとした。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原テニスコート			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・阿賀野バイパス部分開通が好機となることから、市外の利用者を誘客すべき。 その際、他の観光資源と組み合わせることで魅力が向上するので、他の部署との連携を進めること。 ・利用促進を図るうえで、民間活力の活用を検討すべき。 ・期限を定め、早期に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H11(1999)	木造	1階建	64.44 m ² (トイレ・更衣室等)
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
107 千円	422 千円	1,520 人	1,508 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	中学校部活動及び地域クラブへの利用を促進しました。 また、苔が繁茂し使用できないAコートについて、代行人とともに除去に取り組みましたが、根が深く難しい状況です。	利用者数 2,070 人 R5 年年度 1,520 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組（集客を主とする。） 【指標】 2,600人(令和元年度2,608人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを 令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を 目標とする。 ・阿賀野バイパス利用者への施設PR （フェンスに施設看板取付） ・テニスコート場及び屋内運動場利用 者への多用途利用に向けた聞き取り ・市外スポーツ協会へのPRチラシの 送付 ・ホームページによる市内外への利用 促進	
令和6年度	利用増の取組 ・市内外へのPR継続 ・多用途への施設活用 ・PDCAによる効果検証 民間活用の検討	
令和7年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	テニスコートの整備
令和8年度	利用増の取組 ・PDCAによる効果検証	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
-----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	利用者数は、中学校部活動及び地域クラブへの利用促進により、令和5年度との比較で 550人増加し、36.2ポイントの伸びとなりました。しかし、指標値(2,600人)からは、 20.3ポイント減少しており、中学生部活動への利用促進を継続するとともに、屋内運動 場施設への施設紹介、総合型クラブのテニス教室の開催し、利用者増の取り組みを行う 必要があります。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	城ノ内野球場			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	劣化箇所調査	不具合修繕			
R 3 行政改革推進委員会意見						
・安全管理をしっかりと行いながら維持していくこと。 ・ナイター設備、バックネット支柱などは重大事故に繋がる恐れがあるので、早急に点検を行うこと。 なお、ナイター設備の廃止を行う場合、利用者や地域住民からの理解を得るよう努めること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S48(1973)	鉄筋コンクリート造 木造	1階建	54.08 m ² (トイレ・倉庫)
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
193 千円	685 千円	3,830 人	4,274 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	定期的な巡視により、施設維持に努めています。	利用者数 4,123 人 R5 年度 3,830 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の把握 ※照明施設の修繕は行わない。 ナイター利用の廃止検討 【方針】 水銀灯照明が利用不可となった時（球不足、器具故障など）、または利用団体との調整ができしだい、ナイター利用は終了とする。 ・野球場夜間利用者の状況把握 ・利用団体の意向確認の実施	
令和6年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 利用団体の意向を踏まえた施設利用の実施	
令和7年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 ・ナイター利用団体との調整
令和8年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 ・ナイター利用団体との調整

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
------------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	定期的に安全パトロールを行い、施設の点検を行っています。夜間利用に伴う、水銀灯の点灯状況を把握し、照度の確認を行っています。利用状況は、昨年度よりも293人、7.7ポイント増加しています。城ノ内野球場の夜間利用団体を把握しながら、水原野球場の夜間利用へのシフトについても確認していきます。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田B＆G海洋センター			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校でのプール教育の実態を把握したうえで、利用の促進に努めること。 ・わかりづらい場所にあることから、PRに努めること。 ・利用促進を図るため、安全管理に配慮しつつ指定管理者制度の導入も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S60(1985)	鉄骨造	1階建	125.00 m ² (受付・更衣室部分)
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
119 千円	3,077 千円	2,534 人	615 人

2 取組実績

実施時期	実 施 内 容	備 考
令和6年度	利用増の取組 笹岡小学校、京ヶ瀬小学校全校生徒の受入れ カヌー・サップ・水泳教室等の実施及び広報等への掲載によるPR 案内看板の設置	利用者数 4,221人 学校 2,094人 その他 2,127人 令和5年度参考 2,534人 学校 714人 その他 1,820人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	利用増の取組 【指標】 3,000人(令和元年度2,975人) ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和5年度の目標とする。 ※令和5年度以降、前年度1割増加を目標とする。 ※ターゲットは、幼児・小学生を中心とし、成人にも施設をPRする。 ・案内（誘導）看板設置 ・キッズ水泳教室の開催 ・一般開放の実施 ・継続的事業の取組 ・小中学校への施設利用チラシの配布 ・広報、ホームページ及びLINEを活用した市民への周知	
令和6年度	利用増の取組 ・継続的事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和7年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	
令和8年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・PDCAによる効果検証	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
-----------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	令和6年度は、小学校プール事業として、昨年度利用の笹岡小学校と新規に京ヶ瀬小学校の受け入れを行い、前年比193.3ポイント増の2,127人の利用がありました。また、継続して子ども園等の団体の受入れ及び夏休み期間に伴う一般開放等を行い、前年比16.9ポイント増の2,127人の利用がありました。全体利用では4,221人となり、目標である前年度1割増加（2,787人）を達成することができました。PR活動では、生涯学習事業や公民館・体育館施設等でのプールチラシの掲載や声掛けにより、成人の方の利用（ウォーキング&スイム）が、ほぼ毎日あり、コースロープを張るなど専用コースを設け、新たな利用者層がありました。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S51(1976)	鉄骨コンクリート造	2階建	2,298.10 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
473 千円	9,949 千円	17,472 人	13,766 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・今後の在り方の検討	利用者数 23,636 人 R5 年度 17,472 人 [参考] ・水原総合体育館 92,572 人 ・笹神体育館 29,954 人 9月～12月 閉館

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	今後の在り方方針案作成及びその方針に基づく取組
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	今後の在り方方針の検討を進め、利用者・関係者の理解が得られるよう丁寧な説明に努めること。
-----------------	--

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	利用者数は、中学校部活動及び地域クラブへの利用などが増加し、令和5年度との比較で6,164人増加し、35.3ポイントの伸びとなりました。定期利用団体について、安田体育館以外での利用調整を図っており、今後の方針が決定するまでは、新規の団体利用の受け入れは行わず、他施設での利用をお願いしています。 今後の在り方方針について、令和6年10月に庁内で検討を行い、結論まで至らなかったことから令和7年度の早い時期に検討を行うこととしています。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	京ヶ瀬体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	用途廃止検討	廃止検討				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄骨コンクリート造	2階建	1,881.01 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
469 千円	7,450 千円	7,522 人	6,617 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	令和6年3月31日で閉館しています。また、閉館に伴う京ヶ瀬地区の一般開放については、令和6年4月から京ヶ瀬小学校体育館で実施しています。 京ヶ瀬体育館の廃止に伴い、京ヶ瀬地区にある京ヶ瀬屋内運動場について、人工芝の張替え、照明のLED化を実施する改修工事を実施し、機能を強化しています。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	令和6年3月31日で閉館
令和6年度	今後の在り方方針案の作成	
令和7年度	今後の在り方方針に基づく取組	京ヶ瀬体育館解体
令和8年度	今後の在り方方針に基づく取組	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	概ね妥当と認める。
------------------	-----------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	既存の京ヶ瀬体育館については、教育委員会が検討している京ヶ瀬中学校グラウンド整備計画に合わせ、令和7年度に解体予算を計上しています。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭連峰少年自然の家			所管課	生涯学習課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	利用増の取組				
R 3 行政改革推進委員会意見						
・利用者等について数値目標を定め、期限を設けて取り組む。目標達成できなければ廃止も検討すること。 ・魅力的な条件を多く持っている施設であることから、他の施設と連携し、五頭連峰の観光や自然体験活動の拠点となるよう取り組むこと。 ・これまでも何度も問題視されてきた施設であり、真剣に改善に取り組むこと。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄筋コンクリート造	2階建	2,451.98 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
8,501 千円	21,979 千円	7,923 人	6,179 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	令和6年度の実績は、令和5年度と比較すると108.3%増の8,581人となり、目標人数の10,000人には及ばないものの、回復傾向をみせました。新たに主催事業を6事業をSNSを活用した募集に工夫し開催、生涯学習課（公民館）5事業を自然の家会場で実施し3事業に自然の家職員が協力し取り組みました。（休館期11から2月の事業実施含む）。また、県自然の家と共催したキャンプは1泊を2泊にして開催、新たに商工観光課・県地域振興局と連携し、いこいの森キャンプ場と自然の家を会場に事業を開催しました。団体受入れでは、小中学校のほか、スポーツ団体、地元ボーイスカウトを中心に利用がありました。（34→47団体）一方、宿泊棟で空調設備（エアコン設置）が十分でない当施設は、トップシーズンの利用が設備不十分の理由で利用を見合わせた団体が10団体ほどあり、今年度も猛暑日が多く、屋外の活動の自粛やざこ寝でもということで、冷房施設のある集会室等を開放することもあり、利用者の安全対応に苦慮しました。設備の充実の更新を望みます。施設・エリア管理では、植栽や草刈り、伐木、遊歩道整備や館内の美化や衛生管理を心掛けました。	利用者 8,581 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、令和5年度は10,000人を目標とする。 (当面、毎年1,000人ずつ増を目標とする。) 【手段】 ①いこいの森との連携 *いこいの森利用者へ自然の家風呂開放検討 ②いこいの森・五頭自然学校との連携 *講師派遣・共催イベント開催の検討 ③受入対象の拡大 *対象は、高校生・大学生・企業等の社会人 (部活・サークル・研修等) (Wi-Fi環境を活用した活動の受入 パソコン、タブレット、スマホ持込利用) ④主催事業開催 *社会教育と連携 *自然の家主催 *県少年自然の家との共催 【施設の魅力向上の取組】 ①炊飯場のチップ敷き ②遊歩道砂利敷き整備 ③花木の植樹による環境整備	
令和6年度	・PDCAでの見直し ・利用者増加の取組 ・受入対象の拡大検討 ・施設の魅力向上の取組	【経営改善】 【年間利用目標】 10,000人 *コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、当面10,000人を目標とする。 (目標クリア後、毎年1,000人ずつ増を目標とする。) 【手段】 ・利用者増加の取組 ① 主催事業の開催→6事業 ② 社会教育連携(自然の家実施)→5事業 ③ 県及び国立妙高青少年自然の家と共催 (つながろう!キャンプ)(はつらつ体験塾) ④ いこいの森(新発田・長岡地域振興局、商工観光課共催)と連携 (サバイバルキャンプ) ・受入対象の拡大 ① 個人・ファミリー受入れ事業→10団体 ② 専門学校・大学等→4団体 ③ 高校→9団体 ・施設の魅力向上の取組 ① 衛生環境の取り組み一環で談話室・研修室にエアコンを入れ、活動後の休憩や泊る場所として提供 ② 炊飯場のチップ敷き ③ 遊歩道砂利敷き整備 ④ 花木の植樹による環境整備 ⑤ SNSを活用した事業募集や施設PR
令和7年度	・PDCAでの見直し ・経営改善 ① 施設維持管理実費徴収の検討 ・利用者増加の取組 ① 主催事業の開催 6事業→11事業 ② 社会教育連携(自然の家実施) 5事業程度 ③ 県及び国立妙高青少年自然の家と共催 ④ いこいの森(新発田・長岡地域振興局、商工	

	観光課共催）と連携 （サバイバルキャンプ） ・受入対象の拡大検討 ① 地域開放デイの設定（検討） ② 個人・ファミリー受入れ事業（拡大） ③ 専門学校・大学等受入れ（拡大） ④ 高校受入れ（拡大） ⑤ スポーツ団体（市内体育施設との連携）受入れ ⑥ 文化団体（演劇・吹奏楽団体等）受入れ ・施設の魅力向上の取組 ① 衛生環境改善 スポットクーラー導入（予定） ② SNS 活用で五頭連峰少年自然の家の知名度向上 ③ 施設・活動エリアの適切な整備	
令和8年度	同上	同上

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	施設設備や環境面への対策を検討し、利用者が安心して活動できるよう取り組むこと。
-----------------	---

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	施設単独で主催事業を開催したり、国立妙高青少年自然の家、新潟県少年自然の家、いこいの森キャンプ場と連携して事業に取り組んだことが令和6年度の大きな特徴といえます。猛暑が続き学校団体からはエアコン標準環境にない当施設は敬遠される傾向にありました。自然環境が豊かなゆえのヤマビル、イノシシやサルの出没、春先と秋口のカメムシ発生の被害もありました。利用者の目標値10,000人に対して結果は微増とはなりましたが、受入れ利用は団体規模の縮小や猛暑の影響で利用が伸び悩み、主催事業や共催事業でカバーした結果となりました。自然の家主催事業では、「自然の家フェア」に9組34人、「五頭の四季シリーズ」6事業実施に延べ48家族164人、「個人・ファミリー受入事業」に延べ10組51人の参加があり、共催・連携事業では、「はつらつ体験塾IN五頭」、「つながろう！五頭&たいないチャレンジキャンプ」、「サバイバルキャンプ」「新潟県青少年教育施設連絡協議会」の事業に延べ186人の参加がありました。運営に当たり、地元団体や企業等の協力をいただいたり、事業募集ではSNSの活用をはかりました。リピーターの利用もあり一定の効果はあったものと考えます。社会教育事業との連携では5事業を自然の家で実施、3事業に自然の家職員が協力し取り組みました。今後さらに、連携団体を増やしたり、利用層の掘り起こし、募集への工夫、施設PRに努めていきたいと思います。施設管理においては、秋鳥山整備や炊飯場へのチップ敷き、遊歩道整備、日常的な施設内外の管理、衛生管理や安全管理に努めました。事故なく安心して利用者が活動できるように今後も務めてまいります。また、施設の維持管理に関し物価が高騰していることから、経費の一部利用者負担（実費徴収）なども検討してまいります。
進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	神山ふれあいの家			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・現利用者である地元自治会との協議を早急に行うこと。 ・期限を定め今後の活用方法（廃止・解体含む）についての整理を行うこと。 （第1期期間内という意味ではない。それより短い期間で行う必要がある。）						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S56(1981)	鉄骨造	1階建	81.20 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
0 千円	294 千円	0 人	17 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	敷地一体の売却を含め関係部署と建物及び敷地の活用方法を協議している状況。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	用途廃止に向け利用者及び地元自治会との協議	
令和6年度	・用途廃止 ・旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和7年度	旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和8年度		

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	土地の売却に向けて取組を進めること。
------------------	--------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	今後も関係課と連携・協議をしながらさまざまな活用方式も視野に入れ、財産を有効活用できるよう努めていく。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	どれみハウス倉庫（旧白鳥ルーム）			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持 (貸付)					
R 3 行政改革推進委員会意見						
・福祉事業を運営するために必要な施設であると認められるため、現状維持を妥当とする。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S47(1972)	鉄骨造	2階建	265.50 m ²
R 5 収入	R 5 維持管理費	R 5 利用者数	(参考) R 4 利用者数
0 千円	0 千円	なし（用途：倉庫）	なし（用途：倉庫）

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	1階の半分（左）を「さくらの会作業所」（阿賀野市社会福祉協議会）、1階の半分（右）と2Fを「すばるワークセンター」（七穂会）が倉庫として使用している。両法人とも建物の老朽化などもあり、貸付（現状維持）を望んでおり、譲渡の希望がないことを確認している。	

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	貸付団体と譲渡協議	
令和6年度	譲渡の場合：譲渡手続 譲渡しない場合：貸付継続	貸付継続
令和7年度	貸付継続	
令和8年度		

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R7行革 (R7.8月)	老朽化が著しく危険な状態であるため、早急に解体等の対策を講じること。
-----------------	------------------------------------

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☒ 実施（完了） ☐ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	貸付継続と協議しているが、建物の老朽化が著しい。特に屋根の破片等が落下するなど周辺の畑や近隣の施設利用者に被害が及ぶことが懸念されるため、今後の建物の維持について取り壊しを含めて、検討する必要がある。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	福祉会館			所管課	社会福祉課	
地区	第1期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持		大規模改修の検討			
R3年度 行政改革推進委員会意見						
・利用者が多いにも関わらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。 ・大規模改修が必要である。						

1 施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S58(1983)	鉄筋コンクリート造	2階建	1,327.07 m ²
R5収入	R5維持管理費	R5利用者数	(参考) R4利用者数
8,334 千円 指定管理料 6,849 千円	8,856 千円	13,039 人	12,623 人

2 取組実績

実施時期	実施内容	備考
令和6年度	暗いと指摘された照明については、今年度補正予算を計上し、ホールについては、照明設備工事を終えたところである。 大規模改修時に定期利用団体をどうするかについて、生涯学習課や公園管理事務所に依頼し、憩の家や水原公民館、ふれあい会館等への定期利用者の振り分けについては協議を行った。投票所機能についても、選挙管理委員会と協議を行った。また防衛補助金の関係の資料や憩いの家が議論になったときの資料の収集を行った。	利用者数 14,208 人

3 年度別計画

年 度	当 初	見直し（修正計画）
令和5年度	・社会情勢や利用者推移など将来需要見込みを考慮した大規模改修の検討 ・利用者属性の調査 ・類似施設（憩の家、公民館等）への利用者の振り分けの検討	
令和6年度	令和5年度の方針に基づいた取組	
令和7年度	令和5年度の方針に基づいた取組	
令和8年度	令和5年度の方針に基づいた取組	

4 行革意見（令和6年度取組実績に対するもの）

R 7行革 (R7.8月)	今後の在り方方針の検討を進め、利用者・関係者の理解が得られるよう丁寧な説明に努めること。
------------------	--

5 評価、改善策等（令和6年度）

評 価	☐ 実施（完了） ☒ 実施（進行中） ☐ 未実施
改善策等	今後は実際に福祉会館の建物そのものをどうしていくのか、担当課として考えを整理して、関係課と協議していきたい。

進捗管理 (管財課記入欄)	
------------------	--